

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1296700014		
法人名	有限会社 かづみ		
事業所名	グループホーム あんしん睦沢		
所在地	千葉県長生郡睦沢町川島757-1		
自己評価作成日	平成23年2月28日	評価結果市町村受理日	平成23年8月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成23年4月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の身体的能力等の低下に伴い、できる事は年々減ってきているが、毎日少しでも笑って過ごしていただきたいと願っている。幸い、緑豊かな自然に恵まれているので、季節を感じ、外の風を感じていただいている。利用者の生活維持の為、行政との相談を積極的に行なっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

農家の古民家を利用した、懐かしさや家庭的な温かみを感じられる施設である。周囲は樹木や草花に囲まれており、季節折々の景色を楽しむことができる。同法人のグループホームやデイサービス、系列法人の老人福祉施設との交流活動や協力体制の構築により、生活支援の活性化や質の向上を図っている。また、入居者一人ひとりの尊厳と自立支援を大切にされた支援に努めていると共に、家族との関係性も大切にしている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個人を尊重し安全で安心して楽しく、美しい共同体を地域を含めた和をもって確立する」という法人理念を掲示している	理念については、事業所内に掲示すると共に、職員全員で共有化を図っている。理念のもと、入居者一人ひとりの尊厳と自立支援を大切に支援を行なっている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の際に挨拶をしてコミュニケーションを取るようにしている	日頃の散歩や地域行事への参加等を通して、地域の方々との交流を行なっている。また、ボランティアや職業訓練生等の受け入れを行っている。事業所の存在を示す看板等が設置されていない為、地域の方々への周知度が不十分である	看板等の設置により、事業所の周知度を高め、事業所理解や地域交流の促進に繋げていただくことを望みます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に貢献できる様、取り組んでいきたい		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の開催が定例化されていない。外部評価の結果を報告できる様、準備を進める	事業所の開設後、運営推進会議が1回開催されているが、直近の1年間では開催されていない。	定期的な運営推進会議の開催により、地域との関係性の強化や事業所運営の向上に努めていただくことを望みます。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町担当者や福祉課の担当者に相談に行っている	相談や報告等を通して、日頃から密な連携が図られている。また、町が実施している研修等にも参加している。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束ゼロへの手引き」をプリントして配布し、具体的な禁止行為を掲示している。玄関の施錠は徘徊者の対応策を検討中である	身体拘束排除における事業所の方針に基づき、身体拘束を行わず、入居者の自由な生活を支援している。玄関については、夜間や安全確保が必要な場合を除き、施錠はしていない。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について職員に教育すると共に、資料等を活用し虐待防止に努めている		

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修の機会があれば出席させたいと考えている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用申し込み時に契約書等の説明を行い、理解していただいた上で契約を行っている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に訪れた利用者家族に近況報告をしながら、意見、要望を聞いている	家族からは、電話や面会を通して意見や要望を確認している。面会時には同席することを心がけており、入居者の生活状況の報告等も行なっている。挙がった意見や要望については、その都度、適切に対応されている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りノートに記入してもらうようになっているが、全体での意見交換は行われていない	日々の申し送りや申し送りノートの活用により、意見や提案等を確認している。また、必要に応じて管理者が個別に、意見の聴取や相談を行なっている。	日々の申し送りは確実に実践されているが、職員全員が参加する会議等が実施されていない。職員全員からリアルタイムで意見や提案を確認する機会を確保し、さらなる運営の向上につなげていただくことを期待します。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境の整備に努めている。給与水準については現場で査定するシステムになっていない為、反映されない		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部から研修案内があれば積極的に参加させている。又、取引業者の協力を得て内部研修も行うようにした		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会の研修に参加している。又、系列法人の運営する施設訪問を行っている		

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の意思が確認できる方は、要望に添えるよう努めている。確認できない方については、表情から安心を感じられるよう心がけている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントシートや家族との話し合いで不安、要望等を聞き、関係づくりに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族との話し合いで優先順位は何かを考え、状況の変化に応じ提案するよう努めている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションをとりながら、利用者の立場にたった対応を実施している		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に現在の状況説明をし、会話の流れの中で、本人と家族の話がスムーズにいくようサポートしている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の馴染みの方とも職員が良い関係を築き、気軽に立ち寄ってもらっている	地域の方々や友人等の来訪があり、馴染みの人との関係の継続支援がなされている。同法人のグループホームやデイサービス、系列法人の老人福祉施設との交流が行なわれており、馴染みの関係づくりにも努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の会話が成立する事は少ないが、相性を見ながら席次に配慮している		

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、施設入所された方には訪問を行った		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に家族から意向を聞いたり、日常の会話の中から把握できるよう努めている	入居時の面接、主治医やサービスを提供していた事業所からの情報収集等により、身体状況や生活状況を把握している。入居者の思いや意向については、日々の様子観察、家族からの意見聴取や生活歴の確認により、対応を工夫して確認し、本人主体の支援に繋げている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの聞き取りや、他のサービス事業所の情報提供書を参考にして把握に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルサイン、排尿・排便状況の把握や、歌唱・描画を勤めて様子を見る等して現状の把握に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の提案やアドバイス等により本人と家族の求める介護計画に近づくよう作成している	本人や家族の意見を確認した上で、関係職員で話し合いを行い、介護計画を作成している。3ヶ月に1回、計画の見直しが行われており、適切な支援の継続に活かされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、申し送りノート等を参考に職員間で情報を共有できるようにしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状況に合わせ職員からの提案などを取り入れながら柔軟な対応ができるよう心がけている		

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者と地域の関わりが密になるように支援していく		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所との協力医療機関だけでなく、利用者の必要とする医療機関への受診にも対応している	協力医療機関を主として、通院や往診の支援が行なわれている。また、希望に応じて他の医療機関への受診支援も行なわれている。事業所に看護師が配置されており、適切な健康管理や医療的な支援がなされている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が非常勤であるため、情報や気づきを次回予定日まで取りまとめて報告している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の看護師、介護職とコミュニケーションを取って退院後に備えている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に「緊急時及び終末期の対応の確認書」をいただいているが、家族の心境の変化を考慮し一定期間を経て再度確認するようにしていく。看取り指針はあるが職員への教育は十分とは言えない	確認書を活用し、定期的に家族の意向を確認している。終末期の対応については、必要な関係者や医療機関との協議及び連携により、適切な支援がなされている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当のマニュアルはある。判断が難しい時には、看護師或いは系列法人の看護師に常時連絡がとれる体制になっている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間対応の避難訓練を行っていないので、安全な訓練を行うための施設整備を含め準備中である	避難訓練の実施や非常災害設備の整備により、災害対策を行なっている。また、災害時に備えて、町から防災無線の貸与を受けている。	非常災害時に対する対策は講じられているが、避難経路の作成及び掲示がなされていない。その他、地域との協力体制の構築も十分であるとは言えない状況である。対策や体制を改善し、災害発生時の適切な対応に繋げていただくことを望みます。

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応が十分にゆきとどかないこともある。全職員が共通の認識をもって対応できる様、促す	入居者一人ひとりの尊厳や生活歴等に配慮した対応に努めている。プライバシーの配慮については十分に行き届いていない面があり、今後の改善課題となっている。	現在、プライバシーの保護や配慮に関する研修が実施されていない。研修の実施により、職員全員で共通理解を図り、適切な対応がなされることを望みます。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を表せる利用者は多くはないがこちらから提案をしたり、その中から選んでもらうようにしたりしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は特に決めてなく、自由に過ごしていただいている。天気の良い日には、日当たりの良い縁側で日光浴を勧めたりしている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族から持ち込まれた衣類の中で、組合せ等に気配りをしている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、準備や片付けのできる利用者はいない。職員は一人ひとりの好みを把握できるよう努めている	可能な範囲で、簡単な食事の準備等をいっしょに行なっている。献立については、系列法人の栄養士が作成したものを基本としており、栄養バランスに配慮された内容になっている。入居者の嗜好に配慮した食事提供や季節ごとの行事食の提供もなされており、食の楽しみを支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	系列法人の栄養士が作成した献立を基にしている。食事や水分の摂取量はケース記録に記入し、利用者の状態の変化に応じて食事形態も変えている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に2回、歯科医師の訪問診療を受けている。一人でケアできる利用者は時間がかかって声かけと見守りで対応している		

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに応じたトイレ誘導を心がけている。オムツ、パッドの種類の見直しや、メーカーの講習会を行っている	入居者一人ひとりの心身状況に合わせた対応がなされている。また、排泄チェック表等の活用により、個々の排泄パターンも把握されている。水分摂取や食事内容の配慮により、便秘予防にもつ努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量のチェック、乳酸菌飲料・食物繊維の摂取を心がけている。一人ひとりの排便状況をチェックし、自然排便のない時は医師、看護師に相談している		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ホームとしての入浴日や入浴時間帯はある程度の決まりはあるが、入浴者、順番等はその時の利用者の状況に応じて対応している	日曜日を除き、入居者の希望や体調に応じて入浴を実施している。その他、部分浴、シャワー浴、清拭等も実施されており、入居者の清潔保持に努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室にエアコンを整備しており、日中居室で休まれる方や、夜間の室温調整を行っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を参考にしている。服薬の用法や飲ませ忘れ等の対処法はプリントを用意した		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや拭取りペーパーの折りたたみ等お願いしている。一緒に歌を歌ったり散歩に出たりの気分転換の支援をしている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとの行事には外出できるよう支援に努めているが、個別の急な外出希望には対応できていない	日頃から散歩が実施されており、外出の機会を確保している。また、季節に応じた外出会等が企画されており、戸外での楽しみを支援している。	

【千葉県】グループホーム あんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、対象となる利用者はいないが、支援するよう努める</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>重度の利用者が多いため今のところできていないが働きかけるよう努めていく</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>農家を改修した建物で、南側に一間幅×五間の広縁がある。そこから広い敷地いっぱいには山茶花、梅、つつじ等四季折々の花を見ることができる静かな空間がある</p>	<p>民家を利用した施設であり、全体的に家庭的な温かみを感じられる。周囲は樹木や草花に囲まれており、季節折々の景色を楽しむことが出来る。日当たりの良い縁側やリビング等、入居者が自由にくつろげる空間も確保されている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>多くの利用者が一日を過ごす食堂の他に8帖の和室、広縁にソファを置いたコーナーがあり、それぞれに過ごしている</p>		
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力で、入居まで使っていた品を持ち込んでいただいている</p>	<p>入居者や家族の希望に応じて馴染みのもの等を持ち込むことが自由になっており、居心地よく生活がおくれるように配慮している。また、エアコンの設置により、空調管理が適切になされている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>古い民家を改修して使っているため完全なバリアフリーとはいかないが、その中で所々にある段差には声かけと見守りで対応している</p>		